



小田原男声合唱团 第46回定期演奏会

- 第64回小田原市民文化祭参加 -

REQUIEM
1 Introitus und Kyrie
Luigi Cherubini
(1760 - 1842)

Tenor I
Tenor II
Baß

Un poco
Un poco

10

50

nto
Cor.

cresc.

Re. qui - em ae - ter - re - qui -
ter - - - nam, re - qui -

2017年12月2日(土)

午後1時15分開場 2時開演

小田原市民会館 大ホール

後援

日本男声合唱協会 (JAMCA)
神奈川男声合唱協会 (KAMCA)
湘南合唱連盟
小田原地区合唱連盟



＜ ご挨拶 ＞

本日はお忙しい中を第46回定期演奏会にお越しいただき本当に有難うございます。

辻秀幸先生が小田男の常任指揮者となられ2回目の定期演奏会となりました。少しずつ先生の音楽作りが、私たち団員にも伝わり始めたのではないかと感じています。特に今回の「レイエム」は『宗教音楽』をライフワークとされている辻先生にとっては、真骨頂を発揮できるプログラムではないかと思えます(小田男メンバーが先生の思いに応えられればですが...)。また、第3ステージで演奏する「わが詩友」は、小田男創立40周年記念の委嘱作品の再演です。曲については、後頁の曲目解説にあります。私たちにとっては大変思い入れのある作品でもあります。初演は外山浩爾先生の指揮でしたが、辻先生の解釈による今回の演奏も是非お楽しみ下さい。そして、第2ステージは村田先生による『北原白秋の詩による男声合唱名曲集』です。北原白秋が小田原に居を構えたのが今から約100年前(来年在100年という節目)です。その意味も込めてのステージとさせていただきます。



小田原男声合唱団

団長

齋藤 恵司(さいとう けいじ)

さて、今年の小田男の活動では、各地の男声合唱団との交流が多い年でもありました。JAMCA A(日本男声合唱協会)東北演奏会が7月に青森県八戸市で開催され、理事団体としての単独演奏、そして全国の男声合唱仲間約250人での合同演奏とステージに立ちました。また、9月にはKAMCA(神奈川男声合唱協会)第14回演奏会(西湘、湘南ブロック演奏会)を4つの男声合唱団の出演で二宮ラディアンにて開催しました。これからも、多くの合唱団(男声合唱に限らず)との交流の輪を広げていきたいと思えます。

団員の高齢化等でメンバー数の減少という大きな課題を抱える小田男ですが、今も歌えているという喜びを大切に団員一同精進したいと思っております。

最後になりましたが、今年もこのように定期演奏会を開催できることは、私たちを支え、応援していただく多くの方々のお陰と感謝しています。心からお礼を申し上げさせていただきます。

それでは、本日の演奏を存分にお楽しみいただければ幸いです。

くプロگرام>

I 「レクイエム」(死者のためのミサ曲) Luigi Cherubini 作曲
～ワンステージ メンバー と共に～

指揮 ピアノ
辻 中根 秀幸 希子

Introitus et Kyrie (入祭唱あわれみの賛歌: 永遠の安息を)
Dies irae (怒りの日)
Sanctus (感謝の賛歌)
Agnus Dei (平和の賛歌)

II 「北原白秋の詩による男声合唱名曲集」

「帰る帰る」
「ちんちん千鳥」
男声合唱組曲「互寒小景」より
「雪後の曇り」(2006年委嘱作品)
全員合唱「ペチカ」
～皆さんとご一緒に～

指揮 独唱
村田 杉山 雅之 範雄

山田 耕筰 作曲
近衛 秀麿 作曲
多田 武彦 作曲
山田 耕筰 作曲

休 憩

III 男声合唱とピアノのための「わが詩友」 (2011年委嘱作品)

指揮 ピアノ
辻 中根 秀幸 希子

信長 貴富 作曲

砂の砦

三好 達治 作詩

詩人の友

丸山 薫 作詩

浅春偶語

三好 達治 作詩

新しい時代に

丸山 薫 作詩

IV 「日本民謡」

～ワンステージ メンバー と共に～

そうらん節(北海道)

清水 脩 作曲 福永陽一郎 編曲

大島節(東京)

福永陽一郎 編曲

安里屋ユンタ(沖縄)

瑞慶覧尚子 作曲

五木の子守唄(熊本)

清水 脩 作曲

斎太郎節(宮城)

竹花 秀昭 編曲

指揮 村田 雅之

Ⅲ 男声合唱とピアノのための「わが詩友」

作曲 信長 貴富

しゅう

信長貴富氏は、今評判高い人気作曲家です。従来小田男では「宮崎駿アニメ映画音楽集」5つのオアハケーニヤによる憧憬などの編曲をお願いしました。

「わが詩友」は、2011年第40回定期演奏会のために委嘱したオリジナル作品で、同年7月にJAMCA札幌演奏会で初演しました。定期演奏会では2回目の演奏です。

信長氏から、この組曲の思いを初演に際して寄稿していただきました。次はその一部抜粋です。

『三好達治の「浅春偶語」に作曲してみたいという思いが以前からあり …… 中略 ……、「友よ」と呼びかける詩句とオダダンの人間模様が重なり合うように感じられたからです。……（以下省略）』

三好達治(1900～1964)と丸山薫(1899～1974)は、旧制第三高等学校(現・京都大学)以来の“詩友”であり、三好達治が詩作への道を歩み始めたのは丸山薫の影響があったからだと言われます。創作を通じて、二人には深い親交がありました。このような二人の交流を背景に、信長氏はそれぞれ2篇ずつ選び組曲にしました。

再演にあたり、改めてその時代背景を考えてみるといういろいろな思いが浮かんできます。

砂の砦

推敲を重ねて創作に励む自身の姿を作者は、砂の砦に投影しました。詩人が抱く思いを忠実に表現しようとする熱意に満ちています。昭和21年の作品です。失敗してもくじけず前進する姿を謳っています。

詩人の友

友への思いやりや謙虚さは日本人が持つ伝統的な美しい心です。信頼する心の友を持つ喜びを謳いあげています。

浅春偶語

信長氏はこの「浅春偶語」には強い思い入れを持たれています。素晴らしい詩ですが、この詩が発表されたのは昭和16年です。当時としては体制から批判を受けかねない内容ですが、信長氏は、時代に生きる作者の偽りない苦悩と心を素晴らしいメロディーに顕しました。

新しい時代に

戦後間もない詩です。新しい時代が来ても悩みや苦しみは尽きない、それらの上に、ひとすじ真実の橋をかけようという歌う最終章では渾身の力が入ります。

〈文責 T2鬼澤〉

丸山 薫 作詩

三好達治 作詩

丸山 薫 作詩

Ⅳ 「日本民謡」

そうらん節

江戸から昭和初期にかけて、北海道の日本海沿岸の浜には、春産卵のため鯨の大群が押し寄せた。メスが産卵オスが一斉に放精する。海が白く染まったほどです。一攫千金を求めて各地からヤン衆(出稼漁師)が網元の鯨御殿に集結し、頃合いの合図とともに一斉に船をこぎだし網で鯨を取った。ソーラン節は、その網上げ作業唄が分化したものとされます。浜の賑わいととも、小樽は、銀行が進出し、歓楽街など、鯨漁の季節春は、空前の活気を呈しました。

大島節

伊豆大島が観光地となって、大島への渡航口下田の花柳界で歌われて広まりました。もと歌は、輸出入のお茶が横浜に集められ、野毛山界限に製茶工場がつくられ、そこで歌われたものです。大島からの出稼ぎ人が、覚えて島に持ち帰り広まりました。野増地区では、茶摘みの際、口ずさむようになったため、「野増節」とも呼ばれます。

安里屋(あさどちや)ユンタ

ユンタとは沖繩に伝わる労作歌のことです。クヤマは、江戸時代八重山諸島の一つ竹富島に実在した働き者で評判高い美人でした。クヤマは、琉球王朝から派遣された目差主(助役)に求婚されたが断わり、当たる親(村長)の申し出も断って島の男と一緒にになりました。権力に屈しない島民の心意気をクヤマに託しました。島に伝わる歌詞に

は、目差主を断って当たる親と結婚したとすものもあります。どちらを選んでも役人の現地妻です。島の男に操を尽くす歌詞を編曲者の瑞慶覧さんは選びました。クヤマを愛しみ、明るく力強く歌いながら農作業に励んだ労作歌です。厳しい年貢の取り立てに耐え抜く逞しい島民の生活力が満ちています。

五木の子守唄

熊本県五木村に伝わる歌です。貧しい家の子が奉公先の富家の子をおぶって寝かせるために歌った子守歌です。一方では、遊び盛りの子供が奉公に出され、ひたすら年季明けを待ちながら耐える守子、自分を慰めるための歌だとも言われます。貧富の差が激しかった当時の様子は、数多くの歌詞と哀愁を帯びたいメロディーによって伝えられています。

斎斎太郎節(さいたらぶし)

宮城県松島湾一帯に伝わる民謡です。カツオ漁の魯漕ぎの労作歌の一種として広く知られます。しかし前身は精錬所で働いていた人たちが歌った「銭吹き歌」だと言われます。精錬所が廃止され、そこで働いた人々が農業が漁業に転職した。そのうちの船乗りになった人たちが糶をこぎながら「銭吹き歌」を基に斎太郎節に変わったものだとする説が有力のようです。生活の糧を求めて移り変わった時代の流れを感じます。

〈文責 T2鬼澤〉

＜プロファイラー＞

常任指揮者 辻 秀幸



東京藝術大学声楽科及び同大学院独唱科修了。1985年イタリアミラノを中心にヨーロッパへ音楽遊学。1986年イタリアのノバラ市国際声楽コンクール入賞。その後、欧州数都市でベートーヴェン「第九」のソリストを務め、各地でコンサートに出演し好評を博す。オペラでは古典から現代に至るまで、数多くの作品に出演し、その優れた演技力と歌唱力は、新聞・音楽誌上度々絶賛された。特に宗教音楽の演奏家としての活躍は目覚ましく、バッハ、ヘンデル、ハイ든等の宗教

曲・オラトリオの演奏ではソリスト・エヴァンゲリスト、指揮者として、その活動は常に注目を集めている。指導に当たっているアマチュア合唱団は15を数えている。洗足学園音楽大学客員教授、東京藝術大学講師、日本合唱指揮者協会副理事長、東京都合唱連盟理事、日本演奏家連盟会員、全日本合唱連盟季刊誌「ハーモニー」編集委員・[ヒデさんは観た！]を連載中。合唱講習会講師、合唱コンクール審査員、NHK全国学校音楽コンクール審査員、全日本合唱コンクール全国大会審査員を務める。2016年、当団の常任指揮者に就任する。

指揮者 村田 雅之



石川県出身。中学時代より吹奏楽で指揮者、合唱部でピアノを務める。石川県立金沢泉丘高等学校理科を経て、横浜国立大学工学部を卒業。在学中はグリーククラブに籍を置き、1年次より学生ピアノニスト、3年次からは学生指揮者を務める。在学中より、多くの一般合唱団や講習会に参加、合唱全般の研修を積み栗山文昭、松下耕、伊東恵司の各氏から影響を強く受ける。2016年1月、横浜国立大学グリーククラブ定演では、男声合唱のため

の「ラプンティ・チカマツ[近松門左衛門狂想]」の指揮で大好評を博す。音楽関連会社に勤務の傍ら、なにわコリアーズ、合唱団お江戸コリアーズ(全日本合唱コンクール全国大会、同声合唱の部、金賞・最優秀団体・文部科学大臣賞・シード合唱団)に於いては、歌い手の他、指揮、ピアノ、打楽器を担当する。横浜国立大学グリーククラブ、立正大学グリーククラブなどの合唱団に於いて指揮、ピアノ、アンサンブルリーダーナーを務める。2014年トレーナーとして小田男で指揮、ピアノを担当する。2016年、指揮者に就任する。

ピアノニスト 中根 希子



小田原市出身。平塚江南高校を経て東京藝術大学音楽学部楽科ピアノ専攻卒業。第3回長江国際音楽コンクール位他多数入賞。ウィーン、シカゴ等での音楽セミナー・マスタークラス参加、ディプロマ取得、終了演奏会に出演。1999年ポーランド共和国大使館後援「日本ポーランド国交樹立80周年記念及び国際シヨパン記念演奏会」に出演。2007年以降、毎年開催の“市民による小田原音楽フェスティバル”では、小林研

一郎・末廣誠・広上淳一・富澤裕・山田和樹・黒岩英臣・佐藤眞の各氏指揮のもと、第九・モーツァルトレクイエム・ドイツレクイエム・メサイア等の演奏会でピアノアシスタントを務める。2009年ウィーンフィルメンバー・シュタイデル弦楽四重奏団と共演する。2012年、小田原でのソロリサイタルを開催、生誕150年を記念しドビッシェ、リストを演奏し、大好評を博し聴衆を魅了した。2013年、豊嶋泰嗣ヴァイオリンコンサートにおいてピアノを、2014年には小田原フィルハーモニー管弦楽団と共演。2015年小田原でのソロリサイタルを開催、いずれも好評を博す。

ヴォイストレーナー 杉山 範雄



小田原少年少女合唱隊に入隊。ルネッサンスから現代まで多くのアカペラ・アンサンブルを学ぶ。湘南工科大学附属高等学校、東京藝術大学音楽部声楽科を経て、これまでに、「ゴシ・ファン・トゥッテ」ドン・アルフォンソ、「魔笛」ザラストロ、「カルメン」エスミーリヨ、等々を演じ、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「戴冠ミサ」「レクイエム」、ベートーヴェン「第九」、フォーレ「レクイエム」等、演奏会・バスソロにて多数出演、小泉ひろし・小林研

一郎・飯森範親等、各指揮者のもとソリストを務める。また、合唱指導等にも意欲的に取り組み、合唱祭の講師等を務める。東京、神奈川を中心に、ソロ・ふるふれい、金沢混声合唱団、In Pace、栄女声合唱団、ぶどうの会、鎌倉市民混声合唱団、北鎌倉女声合唱団、アンサンブル萌、ソロ・フォーレスタ等の常任指揮者を務める。明治大学グリーククラブ、小田原男声合唱団、横浜混声合唱団、中央区プリエール・ジュニア・コーラス等の歌唱指導に取り組み、

杉友会優しい合唱講座講師。神奈川県合唱連盟理事。

＜ 平成29年度(2017年～2018年)主な事業等 ＞

2017年

- | | | |
|-----------|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 2. 4 (土) | 総会 | 小田原市民会館大ホール |
| 3. 5 (日) | 市民による『土の歌』演奏会協力 | 東京 |
| 5.27 (土) | JAMCA合同練習 | |
| 7.16 (土) | 第23回 日本男声合唱協会
JAMCA東北 八戸演奏会 | 青森県八戸市公会堂大ホール
旭丘高校 音楽室 |
| 8. 1 (火) | KAMCA合同練習 | |
| 9.17 (日) | 第14回 KAMCA神奈川男声合唱協会
西湘・湘南ブロック演奏会 | 二宮ラディアンホール
小田原市民会館大ホール
旭丘高校音楽室 |
| 10. 8 (日) | 第51回 小田原市民合唱祭 | |
| 10.21 (土) | 強化練習 ～22日 | |
| 12. 2 (土) | 第46回 定期演奏会 | 小田原市民会館大ホール |

2018年(予定)

- | | | |
|-----------|--------------------------------------|----------------------------------|
| 2.10 (土) | 総会 | |
| 3.18 (日) | 市民による『戴冠ミサ』演奏会協力 | 小田原市民会館大ホール |
| 5. 3 (木) | KAMCA神奈川男声合唱協会創立25周年記念
第15回 定期演奏会 | 横浜みなとみらいホール 大ホール
厚木市文化会館 大ホール |
| 6. 3 (日) | 第67回 湘南合唱祭 | ミュージアム川崎コンサートホール |
| 9. 2 (日) | 辻 秀幸先生 還暦記念演奏会 | 小田原市民会館大ホール |
| 10. 7 (日) | 第52回 小田原市民合唱祭 | |
| 12. 1 (土) | 第47回 定期演奏会 | 小田原市民会館大ホール |

合唱団員募集

♪ 男声合唱の魅力に酔いましょう ♪

年齢・お住まいを問わず、歌うことが好きな方、未経験の方も、小田原男声合唱団の一員として、男声合唱の魅力に酔いましょう。

貴方が仲間と一緒に創る、重厚でしびれるような男声合唱のハーモニーは、必ずや貴方を虜(どろ)にするでしょう。あなたの参加をお待ちしております。

練習日時：毎週火曜日 18:30～20:50 月1回日曜日 13:00～17:00

練習会場：旭丘高校音楽室(小田原駅より徒歩7分) 未経験の方のために練習用CDを用意します。

会 費：月額4,500円(大学生は半額、高校生は免除)

連絡先：河田 一男 電話0557(47)3274 杉本 健二 電話0465(73)0037

ホームページ： <http://www.odadan.jp/> (小田原男声で検索してください)

ワンステップミュージックバー募集

♪ 2018年12月1日(土)予定の第47回定期演奏会で、一緒に唄いましょう ♪

年齢：高校生～80歳代と、年齢制限はありません。初めての方でも大丈夫です。

練習日：火曜日 18:30～20:50 6月より1～2回/月(計15回程度を予定)

練習会場：旭丘高校音楽室(小田原駅より徒歩7分) 未経験の方のために練習用CDを用意します。

曲 目：男声合唱組曲(邦人作品を予定)

参加費用：検討中(月会費はなし) 楽譜代は実費です。

連絡先：河田 一男 電話0557(47)3274 杉本 健二 電話0465(73)0037

ホームページ： <http://www.odadan.jp/> (小田原男声で検索してください)

Members 2017 小田原男声合唱団

T1 加藤 重喜 (秦野市)
河田 一男 (伊東市)
斎藤 惠司 (伊勢原市)
佐野 惠 (岡山県赤磐市)*
堀内 哲夫 (小田原市)
松田 直隆 (山北町)
水城 高嶺 (秦野市)
渡辺 功 (茅ヶ崎市)

* 団友
** 休団中

T2 青野 幸夫 (秦野市)
鬼澤 正純 (藤沢市)
佐藤 精孝 (二宮町)
杉本 健二 (南足柄市)
高瀬 昇次 (小田原市)
福井 隆 (二宮町)
李中 勉 (秦野市)

B1 網盛 一郎
伊東 清邦 (小田原市)**
岩越 万里 (秦野市)
江川 卓男 (小田原市)
大塚 常昭 (鎌倉市)
岡部 仁之助 (秦野市)
加藤 和信 (小田原市)
菊池 義彦 (小田原市)
下村 興毅 (小田原市)
高橋 茂樹 (小田原市)
中村 敬 (南足柄市)
西山 隆行 (秦野市)
横山 茂 (千葉市)

B2 赤川 一色 (小田原市)**
磯田 磯田 (秦野市)
遠藤 遠藤 (小田原市)
笠原 要 (鎌倉市)
桑原 紘 (小田原市)
古林 敏雄 (秦野市)
坂口 源次郎 (小田原市)
佐々木 宗夫 (小田原市)
鈴木 秀昭 (小田原市)
田島 壽久 (小田原市)
千葉 達也 (南足柄市)
陽一郎 (秦野市)
長谷川 滋二 (秦野市)
廣瀬 友二 (湯河原町)
柳田 圭一 (湯河原町)

軍一 (伊勢原市)
義信 (秦野市)
幸男 (小田原市)
要 (小田原市)
紘 (小田原市)**
敏雄 (大井町)
源次郎 (二宮町)
宗夫 (小田原市)
秀昭 (秦野市)
壽久 (南足柄市)
達也 (南足柄市)
陽一郎 (海老名市)
滋二 (湯河原町)
友二 (秦野市)
圭一 (湯河原町)

ワンステージメンバー

T1 露木 聰 (小田原市)
西山 廣木代 (二宮町)
松浦 一弘 (湯河原町)

T2 坂口 新治 (南足柄市)
白石 久司 (開成町)

B1 青野 正純 (小田原市)
小西 正文 (茅ヶ崎市)
田山 正弘 (伊東市)

B2 安藤 善克 (伊勢原市)
井上 忠彦 (小田原市)
島村 勲 (茅ヶ崎市)

名誉指揮者
外山 浩爾

常任指揮者
辻 秀幸

指揮者
村田 雅之

ピアニスト
中根 希子

ヴォイス
トレーナー
杉山 範雄

運営スタッフ

団長 斎藤 惠司
副団長 河田 一男
事務局長 杉本 健二
技術部長 磯田 幸男

財政部長 廣瀬 友二
事業部長 河田 一男
団員部長 高瀬 昇次

渉外部長 岩越 万里
情報部長 遠藤 要

財政監査 佐々木 秀昭
JAMCA 柳田 圭一
KAMCA 杉本 健二

50周年記念事業
プロジェクトチーム
高瀬 敬
萬里 紘
斎藤 惠司
佐々木 秀昭
鈴木 壽久
一色 義信
遠藤 要
下村 興毅
高橋 茂樹
柳田 圭一

演奏会スタッフ

委員長 杉本 健二
会計 廣瀬 友二

定演プロジェクト
岡部 仁之助 幸男
河田 一男 正純
鬼澤 惠司 精孝
斎藤 宗夫 友二
坂口 葉陽 友二
千葉 真也 様
廣瀬 万里 様
桃井 宏司 様
岩越 各 団員部 様
上利 石崎 雅美 様
各 柏木 晶子 様
石崎 小田原 曜会 様
アナウンス 市レレブジョニスト 様

T1 堀内 哲夫
T2 杉本 健二
B1 加藤 和信
B2 磯田 幸男
T1 水城 高嶺
T2 高瀬 昇次
B1 中村 敬
B2 長谷川 滋二
柳田 圭一
加藤 重喜

舞台 渉外
録音 打上げ
アナウンス 譜捲り
受付・案内

団長委嘱顧問
福井 青野 隆 幸夫

井上 忠彦
斎藤 惠司
高瀬 昇次
堀内 哲夫